

仙台二中 防災だより

第9号

令和5年度 第9号
令和5年10月24日発行

発行者 防災主任

Jアラートが鳴ったらどうすればいいの？

以前は弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がある場合にJアラートは発令していましたが、弾道ミサイルが宮城県や周りの県に落下する可能性がある場合に発令するように最近変わり、また日本領域に落下する可能性がなくなった時点で避難を解除するように改められました。Jアラートによる情報伝達があった場合は、携帯電話にエリアメールや緊急速報メールが配信されます。本校のホームページの「◎防災・緊急情報」をクリックして確認できるほか、仙台市では「杜の都防災メール(登録制)」でもJアラートの緊急情報を知ることができます。また、市町村によっては、防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れるところもあります。

弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合には、弾道ミサイル発射の情報が流れ、避難を呼びかけます。屋外にいる場合は近くの建物(できれば頑丈な建物)の中または地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難してください。屋内にいる場合は、すぐに避難できる場所に頑丈な建物や地下があれば直ちにそちらに避難して下さい。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。なお、領土・領海に落下する可能性がある判断された場合には、その時点で改めて情報が流れ、直ちに避難するように呼びかけます。ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるために、近くに頑丈な建物又は地下がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ってください。建物内に避難してから気を付けることは、爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないようにできるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

時間帯に応じた対応

先月下旬に仙台市教育委員会と第二中学校長名で「弾道ミサイルへの対応について」の文書を配付しましたが、以下に要点をまとめてみました。

- 1 宮城県が対象に含まれない場合は通常通りの活動、登下校
ただし、弾道ミサイルが領土・領海内に落下した場合は臨時休校。
- 2 宮城県がJアラートの救急情報の対象地域に含まれる場合
 - ①学校にいる時間帯は避難行動をとり、先生方の指示に従って対応します。今日の3校時実際に訓練を行います。
 - ②在宅時や登校前は避難行動をとり、自宅待機。
- 3 登下校中は自宅か学校がすぐ近くの場合は移動するか近くの建物に避難し、自分で避難行動をとり安全を確保します。



弾道ミサイル発射情報に伴う避難行動
(仙台市 HP)



弾道ミサイル発射時の対応(国民保護ポータルサイト)



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。